

サポートブログ過去掲載記事

[20181106]S.M.A.R.T.の生の値には注意

S.M.A.R.T.の生の値には注意

HDDの健康状態の確認に使われるS.M.A.R.T.(スマート)ですが、**生の値はHDDのメーカーによって固有の様式**になっています。

そのため、

生の

値だけ見ると異常と思えるようなHDDもありますが、実際には正常な場合がほとんどです。

例えば、SeagateのHDDではリードエラーレートやシークエラーレート、ハードウェアECC検知エラー回数、エアフロー温度、温度、などがかなり大きい値が表示されます。

サポートブログ過去掲載記事

ID	項目名	現在値	最悪値	しきい値	生の値
01	リードエラーレート	112	99	6	47090002
03	スピニングアップ時間	96	95	0	0
04	スタート/ストップ回数	100	100	20	845
05	代替処理済のセクタ数	100	100	36	0
07	シークエラーレート	69	60	30	77467521407
09	使用時間	94	94	0	5844
0A	スピニングアップ再試行回数	100	100	97	0
0C	電源投入回数	100	100	20	842
BB	報告された訂正不可能エラー	100	100	0	0
BD	High Fly Writes	100	100	0	0
BE	エアフロー温度	70	45	45	505217054
C2	温度	30	55	0	94489280542
C3	ハードウェア ECC 検知エラー回数	92	60	0	233507924
C5	代替処理保留中のセクタ数	100	100	0	0
C6	回復不可能セクタ数	100	100	0	0
C7	UltraDMA CRC エラー数	200	200	0	0
C8	ライトエラーレート	100	253	0	0
CA	データアドレスマークエラー	100	253	0	0

CrystalDiskInfoでSeagateのHDDのS.M.A.R.T.(スマート)を表示した例

こちらの画像の例では、温度の生の値は約944億ですが、摂氏だとすると例えば太陽の中心の温度の摂氏1300万度より遥かに高いことになってしまいます。実際には摂氏30度なので、一般的な温度ということになります。

このように、S.M.A.R.T.(スマート)の生の値はそのまま読んでも意味がありません。しかし、S.M.A.R.T.(スマート)はそのものには異常がないのに動作がおかしいと感じられる場合には、HDDメーカーの検査ツールを使って確認するようにしましょう。主要なHDDメーカーのものをまとめてみましたので、ご確認ください。

Seatools (Seagate)

サポートブログ過去掲載記事

<https://www.seagate.com/jp/ja/support/downloads/seatools/>

Data Lifeguard Diagnostic (Western Digital)

<https://support.wdc.com/downloads.aspx?p=3&lang=jp>

Drive Fitness Test (HGST)

<https://www.hgst.com/ja/support/hard-drive-support/downloads>

こちらのブログ記事はブログに掲載した時点の情報に基づいて作成されています。

一意的なソリューション ID: #1283

製作者: k.kogawa

最終更新: 2019-04-23 17:42